

⑯ 日本国特許庁 (JP) ⑯ 特許出願公開  
 ⑯ 公開特許公報 (A) 昭59-206353

⑯ Int. Cl. <sup>3</sup> C 07 D 207/335 A 61 K 31/40 31/415 31/455 C 07 D 401/12 403/06 403/14 // C 07 C 93/04	識別記号 AAM	厅内整理番号 7242-4C 7431-4C 7431-4C 7431-4C 6956-4H ※	⑯ 公開 昭和59年(1984)11月22日 発明の数 3 審査請求 未請求
---	-------------	---	--

(全 27 頁)

⑯ 2 - (アミノアルキル) - ピロール - 誘導  
体、その製造方法及びその使用方法

・ ラングウイーゼ16  
カセラ・アクチエンゲゼルシャ  
フト

⑯ 特 願 昭59-87972

ドイツ連邦共和国フランクフル  
ト・アム・マイン-フエヒエン  
ハイム・ハナウエルラントスト  
ラーゼ526

⑯ 出 願 昭59(1984)5月2日

⑯ 優先権主張 ⑯ 1983年5月4日 ⑯ 西ドイツ  
(DE) ⑯ P 3316187.9  
⑯ 発明者 ゲルハルト・ツオーレル  
ドイツ連邦共和国マインタール

⑯ 代 理 人 弁理士 江崎光好 外1名  
最終頁に続く

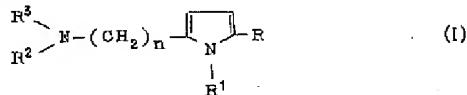
明細書

1. 発明の名称

2 - (アミノアルキル) - ピロール - 誘導体、  
その製造方法及びその使用方法

2. 特許請求の範囲

(1) 一般式(I)



(式中 R は水素原子、  $\text{C}_1\text{-C}_5$  アルキル基、 フ  
エニル基；

R<sup>1</sup> は水素原子、  $\text{C}_1\text{-C}_5$  アルキル基、 シ  
アノ - アルキル ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基、 アル  
コキシ ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) - カルボニル基、  
アルコキシ ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) カルボニル -  
アルキル ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基、 R<sup>7</sup> (R<sup>8</sup>) N -  
カルボニルアルキル ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基、  
アリール残基、 アリール - アルキル  
( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基、 この際アリール残基  
又はアリール - アルキル基のアリー

ル残基は更にハロゲン原子、  $\text{C}_1\text{-C}_4$   
アルコキシ基、  $\text{C}_1\text{-C}_4$  アルキル基、  
 $\text{R}^4$  (R<sup>5</sup>) N -、 ヒドロキシ基、 メルカブ  
ト基、  $\text{C}_1\text{-C}_4$  アルキルメルカブト基、  
ニトロ基、 シアノ基、 アルコキシ ( $\text{C}_1$   
-  $\text{C}_4$ ) - カルボニル基又はアルコキシ  
( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) - カルボニル - アルキル  
( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基によつて1回又は数回  
置換されていてよい、 ヘテロアリ  
ール残基、 ヘテロアリール - アルキル  
( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) 基、  $\text{R}^4$  (R<sup>5</sup>) N - R<sup>6</sup> - 、 ヒ  
ドロキシ - カルボニル - アルキル ( $\text{C}_1$   
-  $\text{C}_4$ ) 基、 1 - アルコキシ ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ )  
- カルボニル) - 2 - メルカブト -  
エチル基、 1 - (アルコキシ ( $\text{C}_1$   
-  $\text{C}_4$ ) - カルボニル) - 2 - ヒドロキ  
シ - エチル基、 1 - (アルコキシ ( $\text{C}_1$   
-  $\text{C}_4$ ) - カルボニル) - 2 - アルコ  
キシ ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) - エチル基、 1 - (ア  
ルコキシ ( $\text{C}_1\text{-C}_4$ ) - カルボニル)